

物理学補講 B (Supplementary Physics Lessons B)					担当教員
					教授 田中 憲一
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
補習	1年次 後期		0単位		

[概要]

実力確認試験、ならびに前期授業「基礎物理学A」の成績に基づいて指名された学生を対象に「基礎物理学B」の講義内容に関する基本事項の説明や補足、質問への回答、問題演習を中心に進める。受講指名されなかったが、高校物理を履修しなかった学生や、選択したが苦手意識のある学生の受講も歓迎する。本講義をきっかけとして、主体的に授業外学習に取り組むことを期待する。状況に応じて、内容の一部変更等もあり得る。

講義は対面で実施するが、オンデマンド配信も予定している。

[授業の一般目標]

くり返し復習し、自分の力で問題を解くことで理解を深める。「基礎物理学B」の内容が十分理解できるようになることを目標とする。

[準備学習(予習・復習)]

「基礎物理学B」の講義内容を復習し問題をまずは自分で解いてみる。不明な点を整理するなどの準備をした上で授業に臨むこと。受講後の復習では、予習で解けなかった問題を自分の力で解くこと。

[学習項目・学生の到達目標]

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	導入および波動	田中憲	物理の学習の仕方を知る。波動とは何かを理解し、基本的な物理量と諸性質を説明できる。
2	音・光	田中憲	音・光の基本的性質を理解する。
3	電荷	田中憲	電荷・電場について説明できる。
4	電流	田中憲	電圧・オームの法則を説明できる
5	磁場	田中憲	磁場とは何かを理解し、種々の電流の作る磁場について説明できる。運動する荷電粒子や電流に働く磁気力について説明できる。
6	粒子性と波動性	田中憲	光と電子の粒子性と波動性を説明できる。
7	原子	田中憲	水素原子の量子論の概略を説明できる。

	(書名)	(著者・编者)	(発行所)
教科書	薬学の基礎としての物理学	日本薬学会 編	東京化学同人
参考書	自然科学の基礎としての物理学	原 康夫 著	学術図書出版社